

特記仕様書

- 第1条 本特記仕様書はきゅう舎地区下水道工事(Ⅱ期)に適用する。
- 第2条 本工事の概要は以下のとおりとする。
1. 工事場所 鳥栖市江島町字西谷
 2. 工事内容 VUφ150 L=512.6m (開削) VUφ200 L=466.4m (開削)
 3. 予定工事期間 契約の日から295日間
- 第3条 本工事は別添金抜き設計書及び設計図書、本特記仕様書によるほか、各項によるものとする。
1. 佐賀県土木工事共通仕様書
 2. 佐賀県土木工事施工管理の手引き
 3. 鳥栖市下水道設計標準図
 4. その他関連資料
- 第4条 交通規制や安全対策については、監督員、地元区長及び所轄警察署、道路管理者及び学校等と十分協議の上、一般交通及び歩行者等の安全を確保する。また、きゅう舎地区での作業は、競馬関係者及び競走馬等への安全対策を十分に行之、騒音及び振動に注意すること。
- 第5条 工事時間帯においては、昼間施工とする。なお、時間帯については、地元区長及び監督員等と協議し、原則競走馬の調教終了後の午前10時以降の施工とすること(8時間作業を想定)。また、週1回程度の能力検査、発走調教時間帯(2時間程度)は音が出る作業を控えること。
佐賀競馬場の競馬開催日等については、原則工事を行わないこと。
※参考 令和6年4月から令和7年3月までの開催予定日：115日
- 第6条 安全管理は、工事における作業員及び一般市民を対象とした安全管理を行うこと。なお、事故等の発生時の通報等については事前に十分な対策を講じておくこと。
- 第7条 工事現場に広報板、迂回案内板、工事件名、工事場所、担当部課名、請負者の連絡先等を記載した表示板を見やすい場所に設置すること。
ただし、看板の種類・規格については、鳥栖市下水道設計標準図を参考とすること。
- 第8条 工事着手前及び工事中、必要に応じ工事内容等を現場周辺住民や地権者に周知し、協力を求めるために必要な措置をとること。
- 第9条 土留工については、現場条件を把握し、使用部材の安全性や構造等を検討の上、適切な施工をすること。

- 第10条 工事に必要な資材置場、現場事務所等の場所については、請負者と協議すること。
- 第11条 施工において、万が一支障が生じたり、その恐れがある場合には、原因を調査し明確にした上で、監督員と協議する。
なお、施工上の瑕疵（かし）によるものについては、請負者により責任を持って対処すること。
- 第12条 工事完了後、工事区間の側溝等の清掃を行うこと。
- 第13条 本工事において施工体制点検を行うものとするが、建設業法第24条の7に該当する場合、施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。
- 第14条 佐賀県建設技術支援機構の事前審査、あるいは他の公共機関において審査認定されたアスファルト混合物、改良土であること。（他の公共機関において審査認定されたアスファルト混合物とは、隣県の公共機関等において配合設計書、確認試験の審査を受け、成績書あるいは認定証等の交付がなされた混合物をいう。
- 第15条 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「指定機械」）を使用するものとする。指定機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみなす（以下「認定機械」）。ただし供給側（賃貸業者）の都合により1台でも調達できない場合は、賃貸業者等において、該当機種在庫がないことを証明する「書類」を2社以上徴収し、監督員に提出すること。
なお、指定機械あるいは認定機械を使用する場合、監督員に「使用」の確認を求めるものとする。ただし確認できない場合は、当該建設機械の写真等、確認書類を監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
工事用建設機械 <ul style="list-style-type: none"> ・ バックホウ ・ トラクタショベル（車輪式） ・ ブルドーザー ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機 ・ 油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニット	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

を搭載しているもの；油圧ハンマ、バイブロハンマ、油 圧式交換圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオ ーガー、オールケーシング掘削機、リバーサーキューレー ションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全開 転型オールケーシング掘削機）	
・ ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー ・ ホイールクレーン	

- 第 16 条 本工事により知り得た個人情報については、本工事の施工のためだけに使用するものとし、それ以外の目的に使用することを禁ずる。
また、個人情報に記載された書類、図面等については、受注者において厳正に管理し、廃棄を行う場合においては、外部に漏洩することがないように適切に処理する。
- 第 17 条 設計と異なる地層（土層）が確認された場合は、監督員と協議し工法の検討を十分に行うこと。また、それにより設計変更を行うものとする。
- 第 18 条 埋設管の保護材は、原則として再生砂を利用すること。なお、利用可能な再生砂の品質については下記の規格を満足すること。
原材料：建設汚泥 100%，再生砂：ふるいわけ砂分 75 μ m～2mm50%以上且つシルト粘土分 75 μ m 未満 10%以下、修正 CBR20%以上。
- 第 19 条 転圧管理において、路床の場合、500 m³に 1 回の割合で、現場密度試験を必ず行うこと。（1 回につき 3 ヶ所行う。）
- 第 20 条 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負代金額 500 万円以上 2,500 万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。）。
また、（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。
- 第 21 条 本特記仕様書に明記していない事項について疑義を生じた場合は、監督員と協議すること。
- 第 22 条 工事の工程は十分に検討し、必要に応じて作業班を 2 班編成等で対応すること。